

1. 電源ON/OFF

- ①電源ボタンを約1秒長押しして下さい。  
※電源OFFは約3秒長押しして下さい。



②下図の画面が表示されます。  
—Model 2701B—  
バッテリー デンアツ:6.5  
V2.06 SN: 70397  
(ENTER) キー

- ③<ENTER>キーを押すとセルフテストが開始され、下図の画面が表示されます。

—ジュンピー—  
02/01/2017 11:58  
Prj:  
モード:ケイソク

<測定画面>

2. 校正 :「REF」

- ①キャリングケース内に本機をセットし、「REF」キーを押すと下図の画面が表示されます。

キャリングケースナイノ  
キジュンゲージニホントイ  
ヲセツスル  
<START>キー

- ②「START」キーを押す。  
下図の画面が表示され

キジュン ヨミコミ  
シヨリチュウ

- ③下図の画面が表示されます。

キジュン ヨミコミ  
コンプリート  
<ENTER>キー

- ④「ENTER」キーで測定画面に戻します。

—ジュンピー—  
02/01/2017 11:58  
Prj:  
モード:ケイソク

- ⑤再度「ENTER」キーを押すと、キャリブレーション結果が表示されます。

—, —% Gmb(MA)  
—, —% Gmm(ボイドレス)  
D: 2433  
—, —% クウゲキ (ESC)

- ⑥「ESC」キーを押すと測定画面に戻ります。

3. キャリブレーション :「OFFSET」

- ①任意の場所でコアを抜き、コアの密度を測定(事前に実施)。  
②ペイptrackerにてコア近傍を測定。  
③実密度とペイptracker密度の差分をペイptrackerに入力する。

例)実測値2400,測定値2380の場合  
差分は、-20になります。  
下記の手順で補正值を入力します。

- ①「OFFSET」キーを押す。  
下図の画面が表示されます。

ミツドホセイ  
0 kg/m3  
1. カノウ 2. フカノウ  
3. ホセイ ヘンコウ

- ②テンキーの「3」を押す。  
下図の画面が表示されます。

ミツドホセイ  
0.0 kg/m3  
センタク(+/-)  
ニューヨークシテ(ENT)キーヲ

- ③テンキーで「2」「0」を押す。  
④テンキーで「-」を押す。  
下図の画面が表示されます。

ミツドホセイ  
-20 kg/m3  
センタク(+/-)  
ニューヨークシテ(ENT)キーヲ

- ⑤「ENTER」を押す。  
下図の画面が表示されます。

ミツドホセイ  
カノウ

- ⑥下図の画面が表示されます。

オフセット —ジュンピー :YES  
02/01/2017 13:47  
Prj:  
モード:ケイソク

4. 厚み入力 :「SETUP」

- ①「SETUP」キーを押す。  
下図の画面が表示されます。

—セット アップ— ↓  
1. タンイ セツテイ  
2. ヒツケ/ジカン  
3. オンド

- ② ↓ ↑ キーでスクロール

—セット アップ— ↓  
4. コキヤクメイ  
5. プザー  
6. GPS

- ③テンキー「9」を押す。  
下図の画面が表示されます。

—セット アップ— ↓  
7. ユーザーID  
8. ミックス Cal.  
9. レイヤー アツミ

- ④テンキー「1」を押すと

アツミ セツテイ  
1. オン  
2. オフ  
バンゴウ センタク

- ④テンキーの「1」を押すと

アツミ セツテイ  
カノウ

- ⑤テンキーの「2」を押すと

アツミ セツテイ  
フカノウ

- 上記が表示され、セットアップ画面①に戻ります。  
⑥「ESC」キーで測定画面に戻します。

レイヤーの厚みは次のプロジェクトメニューで設定できます。

5. プロジェクト名の入力 :「PROJ」

- ①「PROJ」キーを押す。  
下図の画面が表示されます。

—プロジェクト— ↓  
1. センタク  
2. ヒョウジ  
3. サクセイ

- ②「3」のサクセイを選択する。  
下図の画面が表示されます。

プロジェクトメイ  
<ALPHA> ニュウリョク  
(ENTER)キーデシュウリョク

- ③「ALPHA LOCK」(黄色)キーを押す。  
画面右上に「A」が表示されます。  
例)「ROOT246」を入力すると、  
下図の画面が表示されます。

プロジェクトメイ A  
ROOT246  
<ALPHA> ニュウリョク  
(ENTER)キーデシュウリョク

- ※再度「ALPHA LOCK」キーを押せば画面右上の「A」が消え、数値入力ができるようになります。  
※最大で10文字まで

- ④「ENTER」キーを押す。  
レイヤーの厚み入力画面へ移行します。  
※ただし、4. セットアップ画面で、レイヤーアツミ設定が「オン」となっていないと入力画面には移行しません。

- 6. レイヤー厚み入力 :「PROJ」
- 5. の操作の延長上で入力できます。

- ⑤測定するレイヤーの厚みを入力。  
レイヤーの厚み入力力は25~100mmです。  
例)30mmの場合、  
下図の画面が表示されます。

レイヤーノアツミ ニュウリョク  
30mm  
(ENTER)キー

- ⑥「ENTER」を押す。  
下図の画面が表示されます。

プロジェクト サクセイ  
ROOT246  
キドウシマスカ?  
(YES) or (NO)

- ⑦「YES」を押すとプロジェクト画面①に戻ります。

—プロジェクト— ↓  
1. センタク  
2. ヒョウジ  
3. サクセイ

- ⑧「ESC」キーで測定画面に戻ります。

—ジュンピー—  
02/01/2017 14:10  
Prj: ROOT246  
モード:ケイソク

※キャリングケース内の基準プレートにて作業前点検を実施してください。許容範囲外の場合は、販売元へ修理依頼して下さい。  
※現場で測定する前にコア密度を確認してください。  
※コア採取場所の近傍で測定してください。

密度補正・プロジェクト名・厚み設定が終了です。  
実際の測定は裏面を御読み下さい。 裏面へつづく

7. 測定モード変更 :「MODE」

—モード—  
1. ケイゾク  
2. ヘイキンカ  
3. プンリ

ケイゾクモード  
①テンキー「1」を押す。  
連続的に測定するモードです。  
「START」キーを押す。

137.9% Gmb(MA) 21°C  
119.9% Gmm(ボイドレス)  
D: 2405

データを保存する場合、  
「STORE」キーを押す。  
下記画面が表示されます。

メモヲ ツイカシマスカ?  
  
<YES> or <NO>

「YES」を押す。  
下記画面が表示されます。

イチヲ ニュウリヨク #  
  
<ENTER>キー

測定位置の情報を入力し「ENTER」を押す。  
下記画面が表示されます。

チュウシンセンカラノ  
キヨリ?  
0.0 m  
<ENTER>キー

キーボードで数字を入力し、「ENTER」を押す  
下記画面が表示されます。

チュウシンセンカラ  
ヒダリ or ミギ?  
1. ヒダリ  
2. ミギ

テンキーで「1」or「2」を選択すると  
プロジェクト名で保存されます。

ヘイキンカモード  
②テンキー「2」を押す。  
測定した結果を平均処理するモードです。  
「START」キーを押す

ヘイキンカ モード  
ヨミコミ #: 1  
<START>キー オス  
<STORE>/<ESC>キー END

137.9% Gmb(MA) 21°C  
119.9% Gmm(ボイドレス)  
ミツド 2405 ヘイキン 2757  
-19.9% クウケキ<ENTER>

「ENTER」キーを押す。  
「START」キーを押す。

ヘイキンカ モード  
ヨミコミ #: 2  
<START>キー オス  
<STORE>/<ESC>キー END

137.9% Gmb(MA) 21°C  
119.9% Gmm(ボイドレス)  
ミツド 2405 ヘイキン 2757  
-19.9% クウケキ<ENTER>

5回程度、繰返し後に「STORE」キーを押す

メモヲ シマスカ?  
  
<YES> or <NO>

保存する場合、「YES」を押す。  
ハイチヲ ニュウリヨク

<ENTER>キー

測定場所の入力をします。  
キーボードを使用し、英数字を入力する。  
例)A1の場合、

ハイチヲ ニュウリヨク  
A1  
  
<ENTER>キー

「ENTER」を押すと、  
プロジェクト名で保存されます。

プンリモード  
③テンキー「3」を押す。  
不均一性を測定するモードです。  
「START」キーを押す

プンリ モード  
ヨミコミ #: 1  
<START>キー オス  
<STORE>/<ESC>キー END

平均、最高、最低、測定値を表示します。  
ヘイキン ミツド 2338 21°C  
コウ ミツド 2338  
テイ ミツド 2338  
ミツド 2338 <ENTER>

「ENTER」キーを押す、「START」キーを押す。

プンリ モード  
ヨミコミ #: 2  
<START>キー オス  
<STORE>/<ESC>キー END

ヘイキン ミツド 2582 21°C  
コウ ミツド 2826  
テイ ミツド 2338  
ミツド 2826 <ENTER>

再度、  
「ENTER」キーを押す、「START」キーを押す。

プンリ モード  
ヨミコミ #: 3  
<START>キー オス  
<STORE>/<ESC>キー END

ヘイキン ミツド 2535 21°C  
コウ ミツド 2826  
テイ ミツド 2338  
ミツド 2440 <ENTER>

保存する場合、「ENTER」、「STORE」と押す。

メモヲ シマスカ?  
  
<YES> or <NO>

上記で「YES」を選択すれば、あとは  
「ヘイキンカ」と同様に測定場所の情報を入力するとプロジェクト名で保存されます。

8. プリンター出力 :「PROJ」  
「PROJ」キー押し、↓キーで次画面に。

—プロジェクト— ↓  
1. センタク  
2. ヒョウジ  
3. サクセイ

下記画面で「5」を選択。

—プロジェクト— ↓  
4. ショウキョ  
5. シュツリヨク  
6. ドウサテイシ

プロジェクト毎で出力する場合、「1」を選択。

シュツリヨク:  
1. ヒトツ ノ プロジェクト  
2. スベテ ノ プロジェクト  
バンゴウ センタク

下記画面が表示されます。  
付属のプリンターを接続し、「1」を選択。

シュツリヨク:  
1. 32レツ レポート  
2. スプレッド レポート  
バンゴウ センタク

【プリントアウト例】  
付属のサーマルプリンターで出力。

```

7' 1' 1' 外: R00T246

409 1 of 1
02/10/17 10:23
モード: プンリ
Gmb(MA): 100.0%
ミツド: 2460.0 kgm3
テイ ミツド: 2431.0 kgm3
コウ ミツド: 2479.0 kgm3
クイテ 0.00
ホトイ 0.00 kgm3
Gmb(ボイドレス): 2440.0 kgm3
マツド 1' 1': NA
ヨクイ イチ: A1
ID:
イト: NA
カイト: NA
OPS フォウヒイ: ヒョウジ
```

データ出力後、  
プロジェクトメニューに戻ります。  
「ESC」キーで測定画面に戻ります。

9. データの消去 :「PROJ」  
「PROJ」キー押し、↓キーで次画面に

—プロジェクト— ↓  
1. センタク  
2. ヒョウジ  
3. サクセイ

下記画面で「4」を選択。

—プロジェクト— ↓  
4. ショウキョ  
5. シュツリヨク  
6. ドウサテイシ

下記画面が表示されます。

サクジヨ:  
1. ヒトツ ノ プロジェクト  
2. スベテ ノ プロジェクト  
バンゴウ センタク

「1」を選択した場合、  
プロジェクト名を選択して消去して下さい。  
「2」を選択した場合、  
全てのプロジェクトを消去するか聞いてきます。  
消去する場合、「YES」。  
⇒数秒後にプロジェクトメニューに戻ります。  
消去しない場合、「NO」。  
⇒プロジェクトメニューに戻ります。

「ESC」キーで測定画面に戻ります。

【日常点検】

ご使用前には必ず校正を実施してください。  
校正前には、オフセット設定が解除されていることを確認してください。  
解除方法は、「PROJ」キーを押し、プロジェクトメニュー

校正基準値および許容値はケース内側のシールに記載されています。  
キャリングケースと本体機番はペアとなっております。番号の違うものを  
入れ間違わないように注意してください。

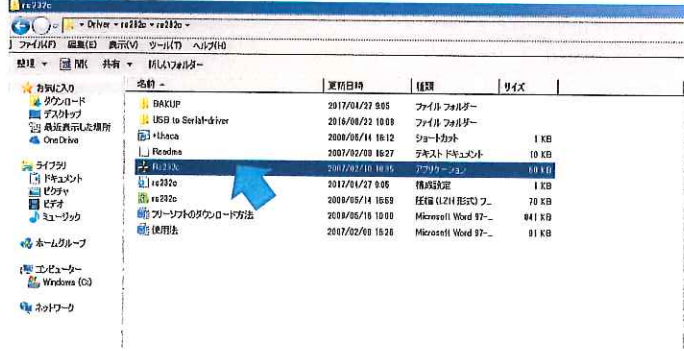
操作及び入力間違いが生じた場合は、「ESC」キーで  
メニュー画面に戻ってやり直して下さい。  
詳しい取扱いは、別紙「取扱説明書」を参照して下さい。

10. データ転送

- ・付属の通信ケーブル(RS232Cケーブル)をPCIに接続して行います。
- ・USB変換ケーブルは別途必要です。
- ・フリーの通信ソフトなどを使用し、データ転送を行います。

① インターネット等でフリーの通信ソフトをダウンロードし、ソフトを起動します。

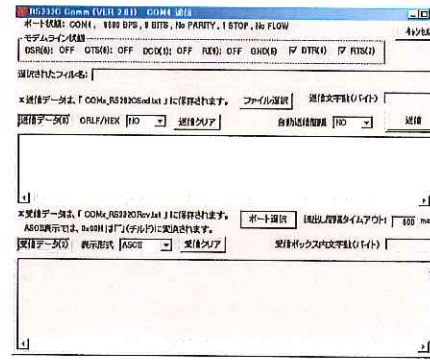
※これは一例です



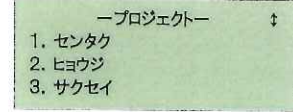
② 通信ポートは接続したポート番号を選択し、通信速度などは下記と同様に設定し、「OK」をクリック。



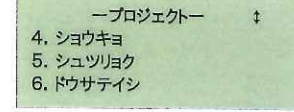
③ ポートの設定が完了したら、ペイブトラックを操作し、データを選択し、通信速度などは下記と同様に設定し、「OK」をクリック。



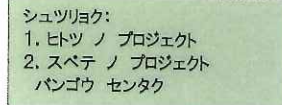
④ 「PROJ」キー押し、↓キーで次画面に。



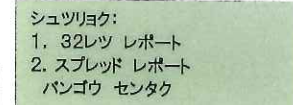
⑤ 下記画面で「5」を選択。



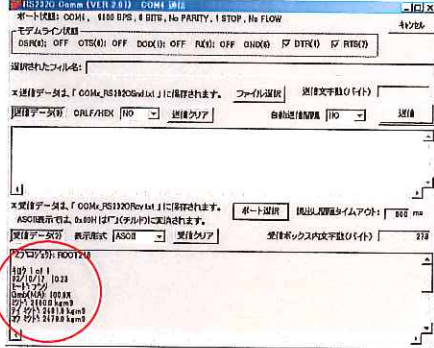
⑥ 「2」のすべてのプロジェクトを選択します。



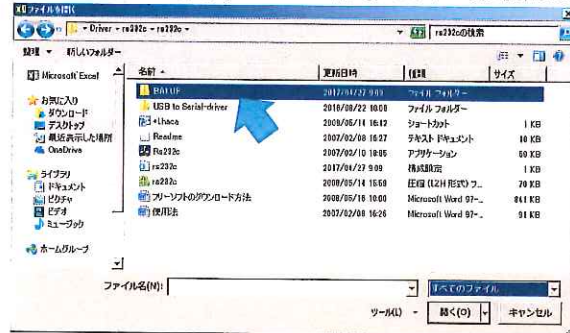
⑦ 「1」を選択しデータを転送します。



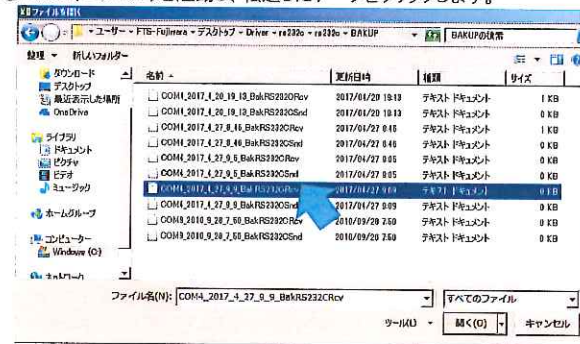
⑧ 赤丸の部分のようにデータが転送されます。



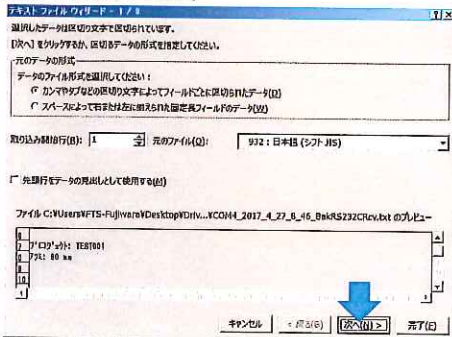
⑨ 転送されたと同時に自動的に「BACK UP」フォルダにデータが保存されます。



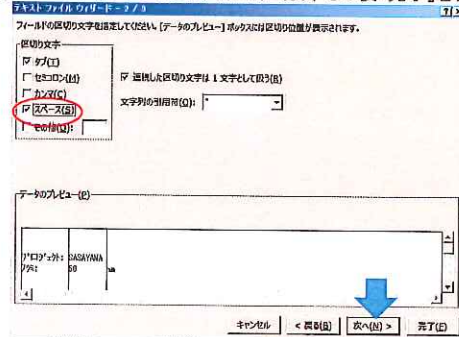
⑩ Excel(エクセル)を起動し、転送したデータをクリックします。



⑪ 「次へ」をクリックします。



⑫ 「スペース」にチェックを入れて区切り、その後「完了」をクリックします。



⑬ Excelで下記のように表示されます。保存するときは名前を付けて保存してください。

ただし、赤丸部分は測定日ですが、ダウンロード後に訂正が必要です。  
例) 本来の測定日: 02/10/17(2017年2月10日)が、  
ダウンロード後、2002年10月17日という表記になってしまう。

